

平成30(2018)年度 とちぎ夢大地応援団カレッジ 活動

「茂木町 深沢地区」

第1回活動報告 H30.9.15(土)

15日(土)茂木町深沢地区の農業体験施設「美土里農園」で、2018年度第1回「とちぎ夢大地応援団カレッジ」活動を実施し、作新学院大学の学生達が同農園のハウスでいちご「とちおとめ」の苗の定植作業などを行いました。

カレッジ活動は、若い世代に農作業や農村資源の保全活動を体験していただき、農業・農村の果たす役割について理解を深めていただくのが狙いです。県内の大学生等が参加して、毎年、活動を行っています。

当日、作業したのは同大学のボランティアサークルのメンバーや教職員ら18人で、中には外国からの留学生も数多く参加されました。

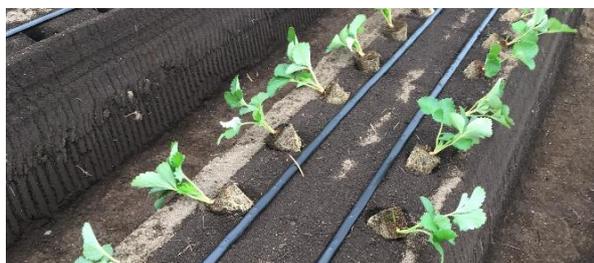
作業は当農園の矢野健司さんの指導を受け、50メートルのハウス3棟への苗の植え付けや、アスパラガスハウスの除草でした。参加された学生の皆さんは「実ったらぜひ来てみたい」と楽しげな様子でした。

また、生産者と情報交換会を行い、農業経営のお話や日頃の農作業についてのやりがい等を聞くことができました。

「農業も将来に向けて作業の合理化が進んでいます。皆さんのような若い世代にどんどん参加していただき、現状を理解した上で、建設的な意見を述べていただきたい」と矢野さんは語っていました。



▲作新学院大学の学生の皆さんです。初めは、生憎のお天気でしたが次第に晴れ間も・・・





まずは、矢野さんから農作業の諸注意についてお話がありました。いちごの定植では、ストローを外に向ける、斜めに苗を植え付けるなど細かな指導がありました。

学生の皆さんは熱心にメモを取りながらお話を聞いていました。



次にハウスに移動して定植作業について指導を受けました。作業は簡単ですが、多くの諸注意がありました。参加者を3つのグループに分け、それぞれ効率よく役割をこなしていきました。

農作業を目にすることが初めてだった人も多く、皆さん緊張してました。



いよいよ作業が始まります。

普段慣れない作業を不慣れな姿勢で行うため早々に疲れてきました。

しかし、多くの消費者へおいしいいちごを沢山届けたいために頑張っています。収穫が楽しみです！！



一つ終わったら又一つと作業は止まりません。慣れてくると多くの苗を定植することができ、楽しくなってくるようです。次から次へとコンテナに入った苗が届きます。参加した皆さんは若いのでペースが次第に速くなってきました。

予定したハウスの作業も早々に終わってしまいました。



次に、アスパラガスの除草作業をやっていただきました。

アスパラガス知らない留学生も多くハウスの中は不思議な空間だったようです。楽しそうなおしゃべりの声が聞こえこちらハイペースに！！

あっという間に作業が終わってしまいました。



お待ちかねのお食事タイムです。

お昼ご飯は地元産の野菜を中心とした美味しそうなハンバーグ弁当でした。

大変な作業の後のご飯は格別で食が進みます。



アスパラガスの除草をやっていただいたお礼に生産者からとれたてを差し入れていただきました。

大変甘くて美味しいアスパラガスでしたが、初めて食べる留学生も多く「おかわり」の声もあちらこちらから聞こえてきました！！



交流会の様子です。

普段聞くことが出来ない農業者さんからの話とあって真剣に聞いています。

また、耳慣れない言葉も多く質問コーナーも盛り上がります。

「農業は儲かりますか」や「農作業疲れませんか」等、屈託のない質問が飛び出しました。